

先端的数式処理とその応用展開



穴井 宏和 氏

株式会社 富士通研究所 主管研究員
九州大学 数理学府/IMI 教授(兼務)
国立情報学研究所 客員教授

創想館5階 ディスカッションスペース53(14-513)

2012年10月18日(木) 11:15 - 12:30

講演要旨

近年、理工学及び産業上の様々なシステムを解析・設計・検証するための新しい技術として、数式処理に基づくアプローチが拡がりを見せている。本講演では、システムの設計・検証、ものづくりにおける最適設計のための技術としての数式処理の可能性・有効性について様々な適用例とともに説明する。また、最近の活動として数式処理技術のAI分野への展開について簡単に紹介する。

講演者略歴

1991年 3月 鹿児島大学大学院理学研究科物理学専攻修士課程修了
同年 4月 株式会社 富士通研究所 国際情報社会科学研究所 入社。
1999年 10月 ドイツ パッサウ大学 数学情報学部(代数) 客員研究員(1年間)
2003年 10月 科学技術振興機構 CREST 研究代表者(5年間)
2008年 2月 東京大学大学院情報理工学系研究科博士号取得
現在、株式会社 富士通研究所 主管研究員。
2008年 4月より九州大学 数理学府/IMI 教授(兼務)
2012年 4月より国立情報学研究所 客員教授

